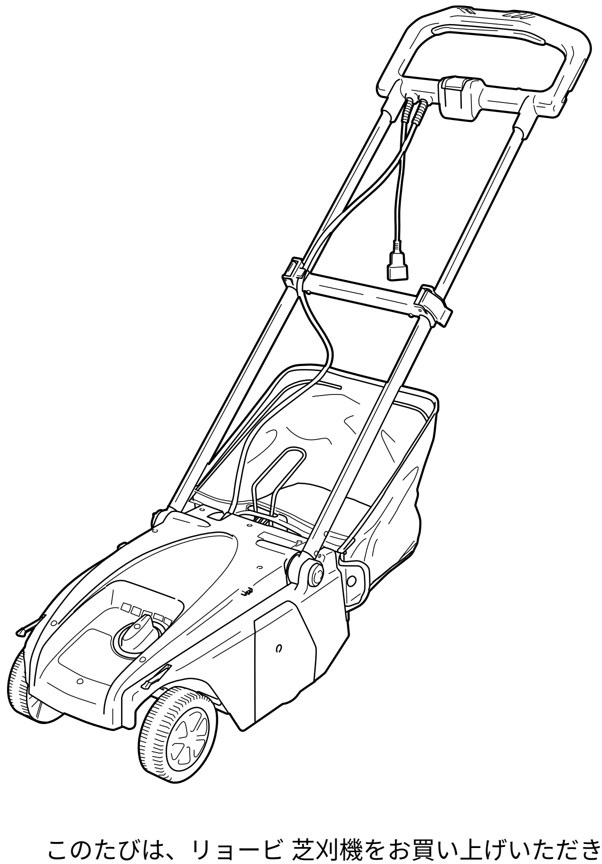
RYOBI

芝刈機

LM-2300
LM-2800

取扱説明書



もくじ

回 二重絶縁

このたびは、リョービ 芝刈機をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

6985374

安全上のご注意

●火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

●ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「⚠警告」・「⚠注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「（注）」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

●他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠警告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   - 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
   - 作業場は十分に明るくしてください。
   - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
   - 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
   - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
   - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
   - 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

⚠ 警 告

6. 無理して使用しないでください。
   - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
   - 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
   - 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
   - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがあるので着用しないでください。
   - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
   - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
   - 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
    - 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
    - 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
    - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
    - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
13. 無理な姿勢で作業をしないでください。
    - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
14. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
    - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
    - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
    - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
    - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
    - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

⚠ 警告

15. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
    - 使用しない、または修理する場合。
    - 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
    - その他危険が予想される場合。
16. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
    - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
17. 不意な始動は避けてください。
    - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
    - 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
18. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
    - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
19. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
    - 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
    - 常識を働かせてください。
    - 疲れている場合は、使用しないでください。
20. 損傷した部品がないか点検してください。
    - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
    - 可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
    - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
      取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
      スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
    - スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
21. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
    - この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

⚠ 警告

22. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
    - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
    - 修理は、必ずお買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお申しつけください。
    - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

芝刈機ご使用に際して

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、芝刈機をご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警 告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
   - 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になったり、過電圧による発熱、火災の原因になります。
2. 雨中や水たまり、および水やり（散水）直後のぬれた芝生の刈込みはしないでください。また本機を雨中へ放置したり、水洗いしたりしないでください。
   - 感電や漏電の恐れがあり、事故の原因になります。
3. 必ず長ズボン、運動靴などを着用してください。
   - 刃物に小石などがあたって飛散し、けがの恐れがあります。
4. 子供やペットのいるそばでは使用しないでください。また、子供には絶対に使わせないでください。
   - 事故の原因になります。
5. 芝刈機を使用する前に、作業場所内にある小石や異物（小枝、ガラス、金属類）などの障害物を取除いてください。
   - 小石などが刃物に当たるとけがの原因になります。
6. 使用中は、回転している刃物や排出口には、絶対に手や顔など身体を近づけないでください。
   - けがの恐れがあります。
7. スイッチを切っても刃物はすぐに止まりません。機械の持ち運び、刃物の点検や手入れの際は、必ず刃物が止まっていることを確認し、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
   - けがの恐れがあります。
8. グラスキャッチャは、必ず本体に取付けて使用してください。
   - 刈取った芝クズなどが飛び散り、けがの原因になります。
9. ロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。
   - セフティ機構が働かず、けがの原因になります。
10. 使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に点検、修理を依頼してください。
    - そのまま使用していると、けがの原因になります。
11. 誤って落としたりぶつけたときは、刃物や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
    - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 警告

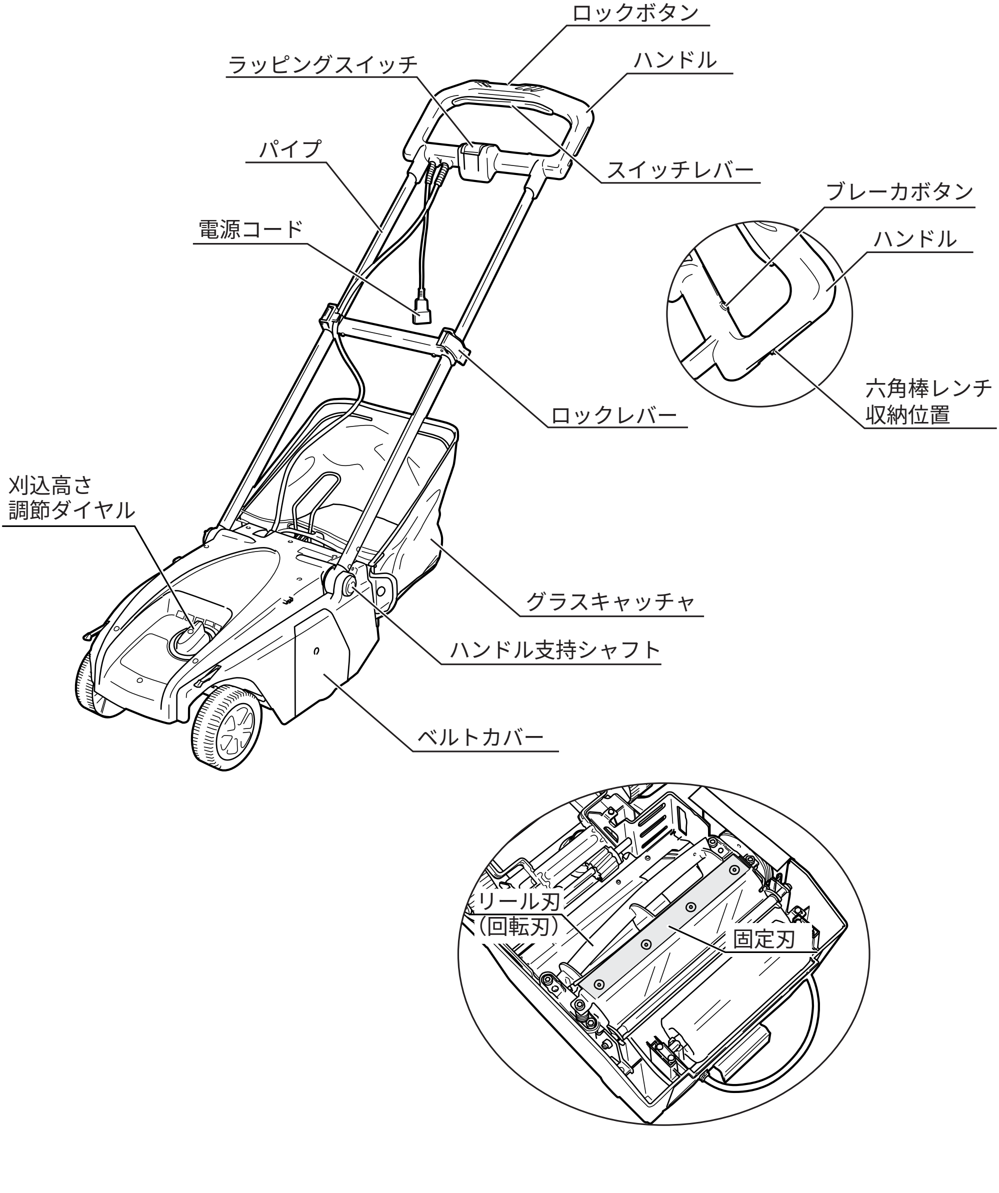
12. 刃物にヒビ、欠けなどの異常があるときは、新しい刃物と交換してください。
    ・切れ味が悪くなるばかりでなく、けがの原因になります。
13. 使用中は本機を確実に保持してください。
    ・確実に保持していないと、本機が振れ、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 刃物は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
   ・確実でないと外れたりし、けがの原因になります。
2. 使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
   ・感電の恐れがあります。
3. 使用しない場合は、必ず屋内に保管してください。保管場所として次の場所は避けてください。
   子供の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
   温度や湿度が急変する所
   湿気の多い所
   直射日光の当る所
   揮発性物質の置いてある所
   ・事故の恐れがあります。

各部の名称

●各部の名称


ロックボタン
ラッピングスイッチ
ハンドル
パイプ
スイッチレバー
ブレーカボタン
電源コード
ハンドル
ロックレバー
六角棒レンチ
収納位置
刈込高さ
調節ダイヤル
グラスキャッチャ
ハンドル支持シャフト
ベルトカバー
リール刃
（回転刃）
固定刃

仕様・付属品・用途・別販売品

●仕様

モデル		LM-2300	LM-2800
電源		単相・交流　100V 50/60Hz	
電流		4.2A	
消費電力		400W	
無負荷回転数		(n_0)3,500min^{-1}	
刈込幅		230mm	280mm
刈込高さ		5～25mm	
集草容量		15 ℓ	18 ℓ
刈刃（リール式）		3枚	5枚
走行方法		手押式	
ラッピング方法		逆回転研磨方式	
機体寸法	長さ	1048（766）mm	1048（766）mm
	幅	304mm	354mm
	高さ	915（206）mm	915（206）mm
質量		8kg	9.6kg
コード長さ		0.3m	
絶縁方式		二重絶縁	

（　）内の数字はハンドルを折りたたんだ状態の寸法です。

●付属品

・六角棒レンチ　5mm（本体収納）　………… 1
・グラスキャッチャ　……………………………… 1
・ラッピングオイル（15g）　………………… 1
・ラッピング用ブラシ　………………………… 1
・延長コード　10m……………………………… 1

●用途

・芝の刈込み作業

●別販売品

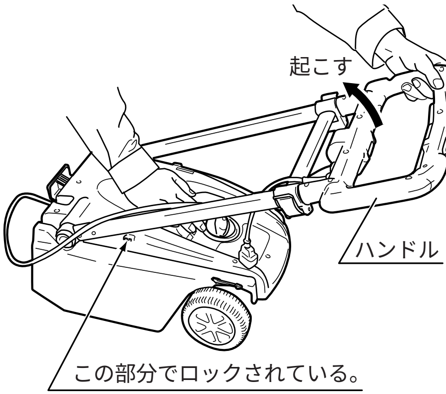
・ラッピングオイル　150g
・ラッピングオイル（15g）、ブラシセット
・サッチング刃（10個）
・サッチング刃セット

ご使用前に

●ハンドルについて

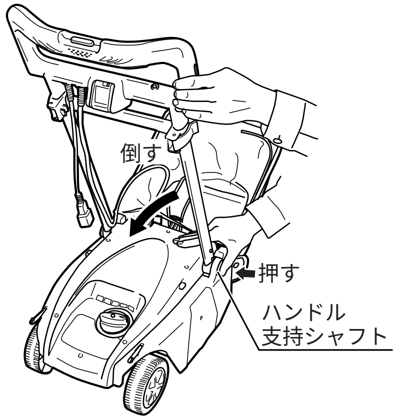
（ハンドルを起こす）

・本体を押え、ハンドルを持上げてロックを解除し、そのままハンドルを矢印方向に起こします。



（ハンドルをたたむ）

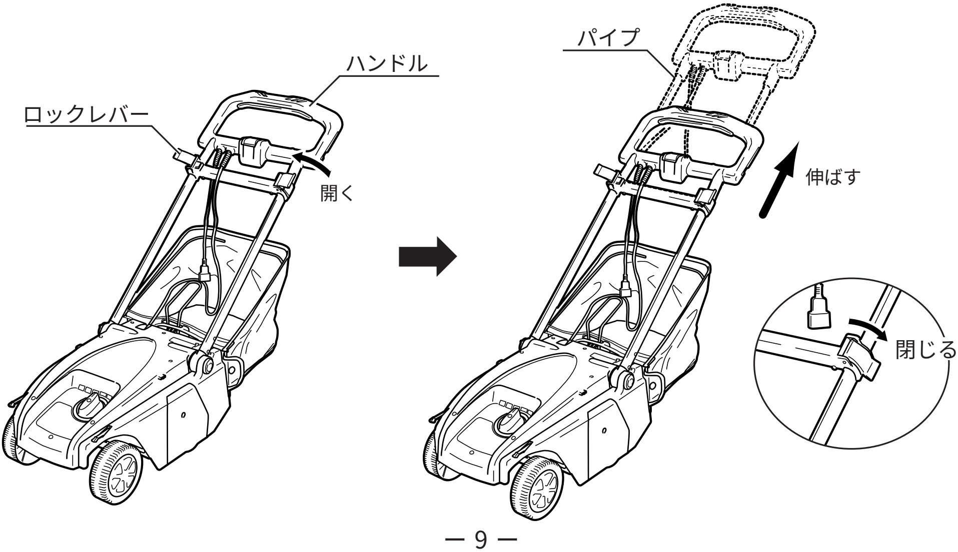
・ハンドルを少し倒し、ハンドル支持シャフトを押した状態で、ハンドルを矢印方向に倒します。最後にハンドルが本体にロックされるように軽く押込んでください。



●ハンドル（パイプ）の伸縮

・作業者の身長や作業姿勢に合わせ、パイプを伸縮させてハンドル位置を調整できます。

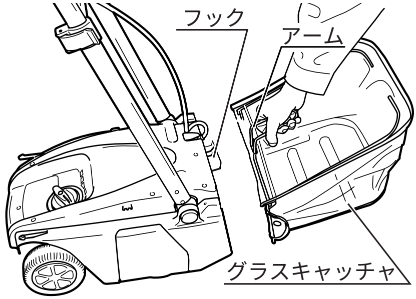
1. 左右のロックレバーを開きます。
2. ハンドルを引いてパイプ長さを調整します。
3. ロックレバーを閉じてハンドルを固定します。



●グラスキャッチャの取付け

・ハンドルを止まる位置まで前方に倒し、グラスキャッチャのアームを本体後部のフックに引っ掛け、押さえて取付けます。

（注）グラスキャッチャは折りたたんで梱包しています。取付けの際は、シワを伸ばしてご使用ください。

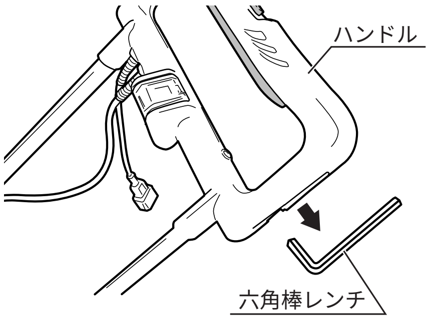


●刃物のすり合わせ調整

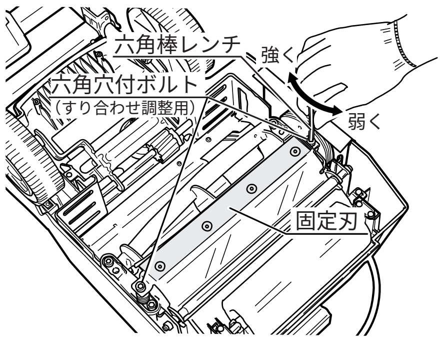
⚠ 警 告

・刃物のすり合わせ調整は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
・必ず手袋などで手を保護し、刃先に十分注意してください。けがの原因になります。

1. ハンドルに収納している六角棒レンチを取出します。

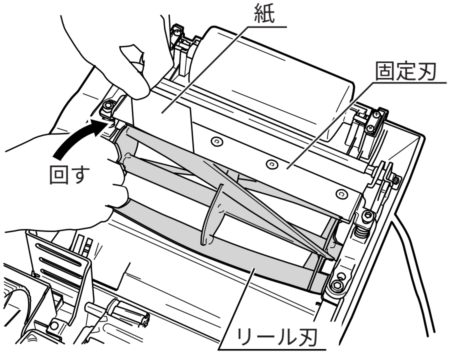


2. 本機を裏返し、六角棒レンチで固定刃の左右にある六角穴付ボルト（すり合わせ調整用）を回して調整します。
   右に回すとすり合わせは強くなり、左に回すと弱くなります。



ご使用前に

3. 固定刃とリール刃の間にハガキ・またはハガキと同じくらいの厚みの紙を当て、リール刃を手で回したときに紙が切れるように調整します。
   （紙は固定刃に対して垂直に当ててください。）
   （注）すり合わせが強すぎると、刃物の寿命が短くなります。また左右のすり合わせが均等でないと刃物が片べりする原因となります。



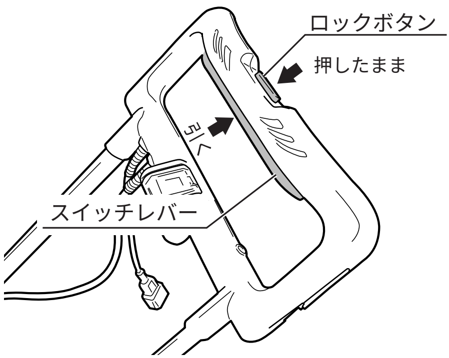
4. 調整に使用した六角棒レンチをハンドルに収納します。
   （注）六角棒レンチは確実に収納してください。収納が悪いと六角棒レンチが脱落し、紛失する恐れがあります。

●スイッチの扱い方

⚠ 警 告
・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になったり、過電圧による発熱、火災の原因になります。 ・ロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。セフティ機構が働かず、けがの原因になります。

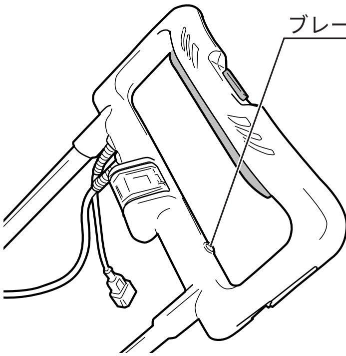
・本機はセフティスイッチを採用しています。ロックボタンを押した状態でスイッチレバーを引かないとスイッチは入りません。

・さし込みプラグを接続する時は、スイッチが切れていることを確認してください。
・スイッチ操作はロックボタンを押した状態でスイッチレバーを引けばスイッチは入ります。切るときはスイッチレバーを離すだけでスイッチは切れます。



●過負荷保護装置（ブレーカ）について

・使用中、モーターに負荷がかかり過ぎると過負荷保護装置（ブレーカ）が働き電源が切れます。
作業を再開する場合は、必ず電源プラグを抜き、過負荷の原因を取除いた後、約30秒待ってブレーカボタンを押してください。



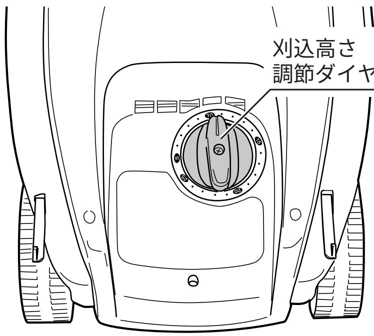
●刈込高さ調節

⚠ 警 告

・刈込高さ調節は、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いた後、リール刃が停止したことを確認してから行なってください。リール刃が確実に停止していないと、けがの原因になります。

・刈込高さは、芝生の状態や長さに合わせて調節してください。

・刈込高さの調節は、5～25mmの間で無段階に調節できます。
・刈込高さ調節ダイヤルを回して、希望の刈込高さに合わせてください。
（ダイヤル目盛は芝の長さ(mm)の目安にしてください。）
（注）長い芝を一度に8mm以下の高さに刈らないでください。芝を枯らす原因になります。8mm以下に刈る方法については、16ページを参照してください。



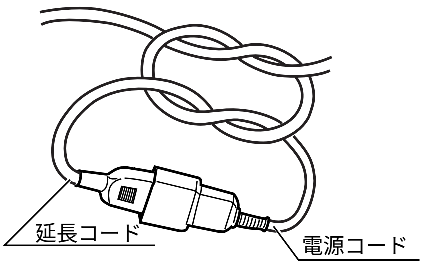
使用方法

●電源コードの接続

⚠ 警 告

・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になったり、過電圧による発熱、火災の原因になります。
・電源コードを接続する前にスイッチが切れていること、延長コードが電源コンセントに接続されていないことを確認してください。

・電源コードを延長コードに接続します。
・作業中、コードの抜けを防止するため、右図のような方法で接続してください。
・接続部を確実に接続してから、延長コードのプラグを電源コンセントにさし込みます。



（注）市販の延長コードを使用する場合は、機械の性能を十分に発揮させるため、できる限り短く（３０m以内）、本体取付コードより太い工具用のキャブタイヤコードを使用してください。
長すぎる延長コードは電圧降下により、十分な性能が発揮されないだけでなく、モーター焼けの原因にもなります。
ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱などによる電圧降下や火災事故を防止するために、コードを全て引出して使用してください。

●使い方（作業）

⚠ 警 告

・使用前に必ずスイッチ操作を行ない、正常に作動することを確認してください。けがの原因になります。
・使用中は、回転中の刃物や排出口には、絶対に手や顔など身体を近づけないでください。けがの原因になります。
・グラスキャッチャは、必ず本体に取付けて使用してください。刈取った芝クズなどが飛び散り、けがの原因になります。
・ロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。セフティ機構が働かず、けがの原因になります。

（注）・使用中は、とび石・縁石などにリール刃を当てたり、強い衝撃を与えないでください。リール刃が変形し、故障の原因になります。リール刃が異物に当った場合は、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。リール刃が完全に停止してから異常の有無を確認し、異常がある場合は、修理を行なってください。

（注）・長く伸びた芝を一度に刈込まないでください。刈った芝がリール刃に巻付き、モーターに負荷がかかり過ぎるため、モーター焼損の原因になります。
・グラスキャッチャ内の芝の溜まり具合を確認してください。溜まり過ぎないように注意して、早めに捨ててください。
・運転中にラッピングスイッチの切換えをしないでください。スイッチ故障の原因になります。

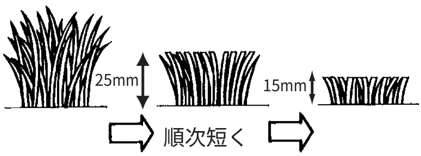
（作業手順）

1. ラッピングスイッチを刈る側にする。（刃物のラッピング研磨　P19参照）
2. 電源プラグを電源コンセントにさし込む。
3. スイッチを入れる。（スイッチの扱い方　P11参照）
4. 刈込み作業をする。（上手な刈り方　P14～17参照）
5. 作業が終わったらスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

●上手な刈り方

●長い芝は日をおいて順次短く

・芝があまり伸びないうちに刈ってください。
・芝が伸びすぎたときは、日をおいて順次短く刈ってください。
最初から短く刈ると、芝刈機に無理が生じると同時に、芝を枯らす恐れがあります。

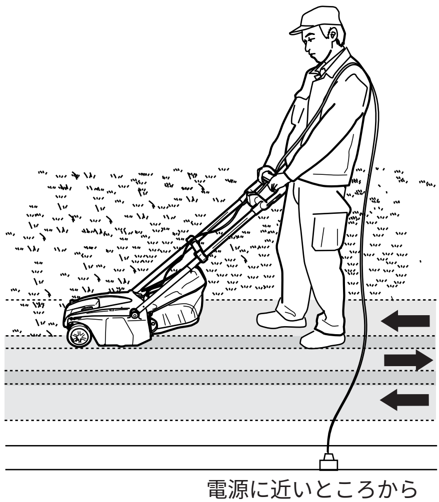


●電源コンセントに近い方から

⚠ 警 告

・万一、延長コードを切断した場合は、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、新しいコードと交換してください。感電の恐れがあります。

・芝生の刈込みは、電源コンセントに近い所から行なってください。
・延長コードは肩に掛け、余分なコードは刈り終わった所をはわせてください。
・芝刈機が延長コードの上を通ったりして、コードを本機下部へ巻込まないようにしてください。

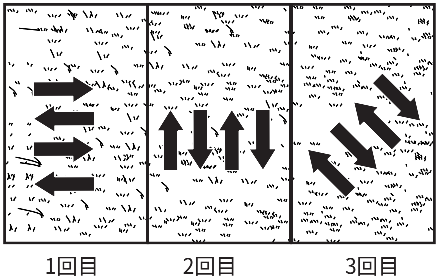


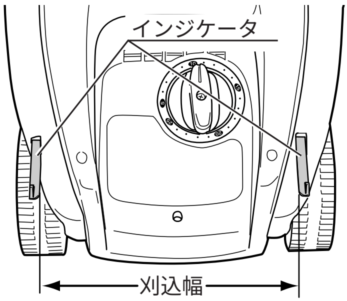
使用方法

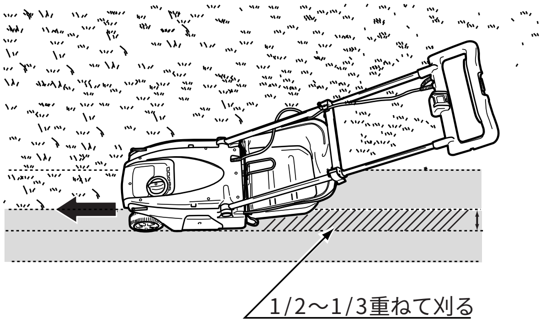
●刈込角度を変えて、重ねて

・刈込角度を変えて刈ると、芝目が一定方向になるのを防ぐことができます。
　右図のように毎回角度を変えて刈込みを行なうときれいになります。

・本体前面のインジケータの幅が、刈込幅の目安です。インジケータを目安に一度刈った幅の1/2～1/3を重ねて刈ると、むらなく刈ることができます。







●刈込み速度はゆっくりと

・刈込みの速度（押し歩く速さ）は、芝生の状態に合わせてください。

・1mを4～5秒くらいの速度でゆっくり動かすと、きれいに仕上がります。

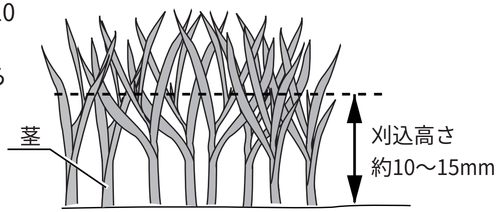
（注）長く伸びた芝、密集した芝を一度に刈ると、芝クズがグラスキャッチャに入らず、排出口付近にたまることがあります。
　この場合は、普段よりゆっくりとした速度で芝刈りを行なってください。



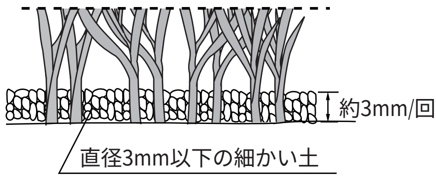
●芝を８mm以下に刈る方法

長い芝を一度に8mm以下に短く刈ると、芝が茎だけになり弱くなります。
芝を8mm以下に刈る場合は、下記の手順で刈ってください。
刈込時期は５月～９月の芝が成長する時期が適しています。

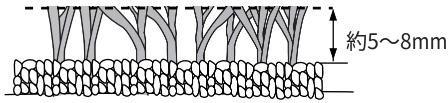
1. 芝が茎だけにならないように、葉を残して10～15mmの長さに刈ります。
   一度に刈る芝の長さは、草丈の1/3～1/2くらいに抑えてください。



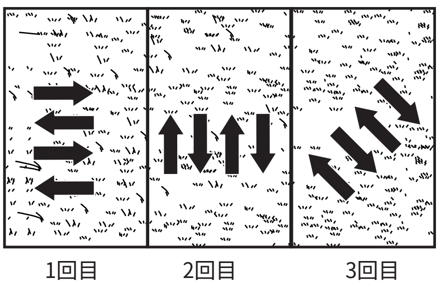
2. 目土（芝用目土、または川砂の粒子３号程度）を芝地から3mmの高さまで入れ、ローラー（市販品）がけをします。
   この作業を３回くらい繰返して行ない、芝の茎だけが約3mm埋まるように仕上げます。
   （散水は毎日一回行ないます。）

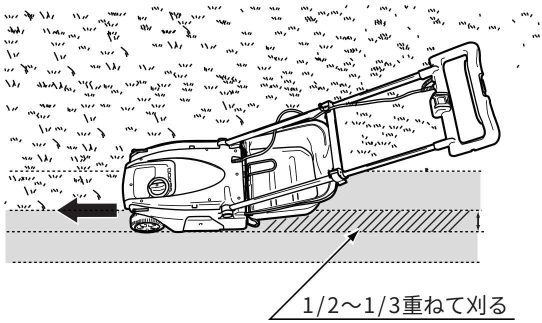


3. 目土を入れて約2週間後に刈込みます。芝刈機の刈込み高さを5～8mmに調整して、毎日または１日おきに刈込みます。
   芝目が一定方向になるのを防ぐため、毎日刈込み角度を変えて行なってください。



（注）芝地が平坦でないと、固定刃と芝地が引っかかり、芝刈機を押す抵抗になると同時に芝地を痛める原因になります。芝地は必ずローラー（市販品）がけをして平坦にしてください。





使用方法

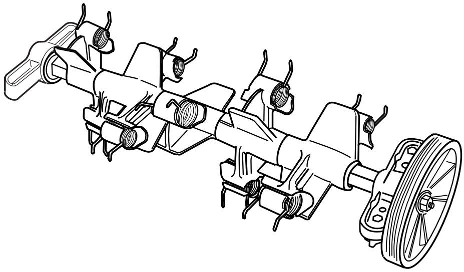
●芝生の手入れのしかた

作業 ＼ 月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備　考
目　土				↔	↔（夏芝）	↔				↔	↔（冬芝）	↔	↔	目土は茎の葉が隠れない程度に、薄く入れます。
施　肥					↔	↔				↔	↔	↔	↔	施肥は、均一にムラにならないように注意します。施肥をした後は、直ちに水を散布して、溶かすようにします。
芝刈り	月２〜３回			↔	↔（比較的長め）	↔				↔	↔（比較的長め）	↔	↔	あまり芝を長く伸ばさないで、定期的に刈込みます。
	週１〜２回						↔	↔（短く）	↔					
水やり	週１〜２回			↔	↔	↔				↔	↔	↔		水やりは、平均してムラなく散水し、少しの水を長い時間かけてまきます。
	週３回						↔	↔	↔					
サッチング	月１回						↔	↔	↔					芝生にたまったサッチ（刈クズ、枯れた芝の葉、茎、根など）は別販売品のサッチング刃セットを使い定期的に除去してください。
	サッチがたまったとき	↔	↔	↔	↔	↔			↔	↔	↔	↔	↔	

別販売品について

●サッチング刃セット

・サッチング刃セットを取付けることにより、芝の大敵であるサッチ（枯れた芝の葉、根、茎など）の除去を行なうことができます。また、芝の上に落ちた木の葉などの清掃も行なえます。
・サッチング刃の取扱方法については、サッチング刃セットの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。



サッチング刃セット

保守と点検

⚠ 警 告

・保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、スイッチを切り、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

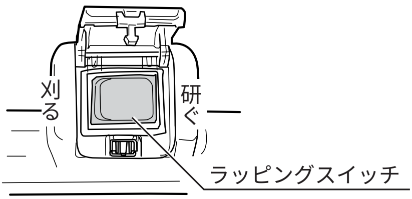
●刃物のラッピング研磨

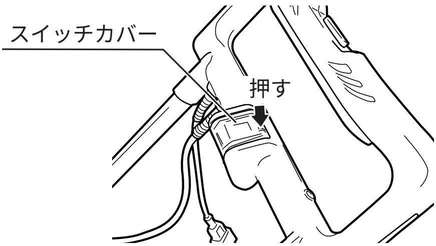
⚠ 警 告

・刃物を手入れする前にはスイッチを切り、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
・ラッピング研磨の際は、必ず手袋などで手を保護し、刃先に十分注意してください。けがの原因になります。

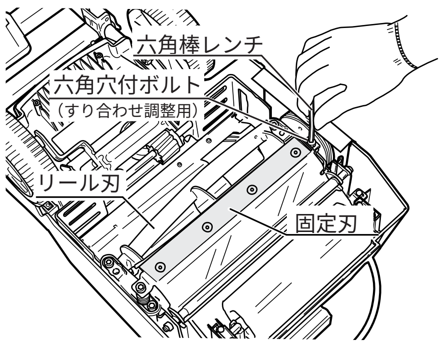
・刃物の切れ味が悪くなったら、次の要領でラッピング研磨をしてください。
・ラッピング研磨は、刃の微少な摩耗に対して有効ですが、割れ、欠けなどのある刃物は、復元できません。新品と交換してください。
・ラッピング研磨は、総作業時間約10時間を目安に行なってください。

1. スイッチカバーの矢印部分を押してカバーを開きます。
2. ラッピングスイッチの研ぐ側を押してください。

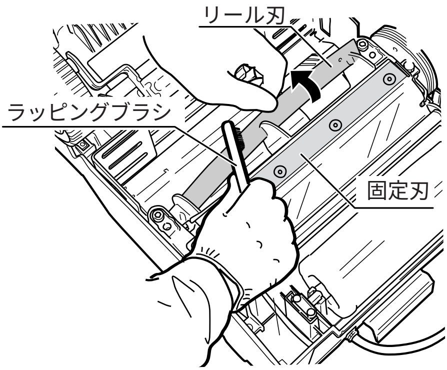




3. 本機を右図のように裏返します。
4. ハンドルに収納している六角棒レンチで、固定刃の左右にある六角穴付ボルト（すり合わせ調整用）を右に回し、リール刃と固定刃が軽く接触するくらいに調整します。
目安として、刃物のすり合わせ調整でハガキと同じくらいの厚さの紙が切れるくらいに調整したところから、六角穴付ボルト（すり合わせ調整用）を右に約10°～15°回転させたくらいの位置です。

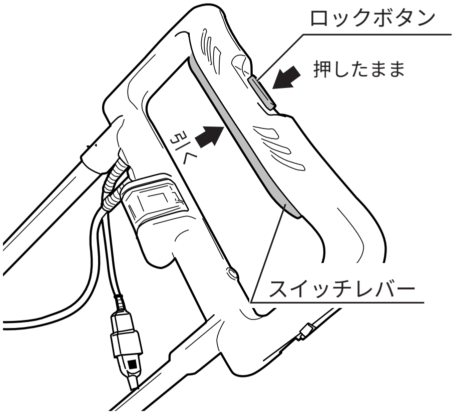


5. 付属品のラッピングブラシにラッピングオイルを少量付け、固定刃とリール刃の刃の部分一枚一枚に薄く塗布してください。
このとき、リール刃を矢印の方向に回転させながら塗布してください。



6. 本機を元の位置に戻し、グラスキャッチャを取付けた後、電源プラグを電源コンセントにさし込んでください。

7. スイッチレバーを引き、研磨をします。
約1～2分間運転を続けると、刃物の接触音が変わってきますので運転を停止し、3～7の操作を数回繰返してください。
（注）・刃物の接触が強すぎると、過負荷保護装置（ブレーカ）が働き、電源が切れる場合があります。
・運転中にラッピングスイッチの切換えをしないでください。スイッチ故障の原因になります。



8. 刃物のすり合わせ調整（P10～11参照）を行ない、紙（ハガキと同等の厚さ）が切れるか確認します。
切れない場合は、再度研磨をしてください。
（注）調整前には必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

9. 研磨作業後は、必ず固定刃、リール刃のラッピングオイルのカスをふき取ってください。
（注）・ふき取り作業前に必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・ラッピングオイルのふき取りが不十分ですと刃が切れなくなる原因になります。

10. ラッピングスイッチを刈る側に戻してください。

保守と点検

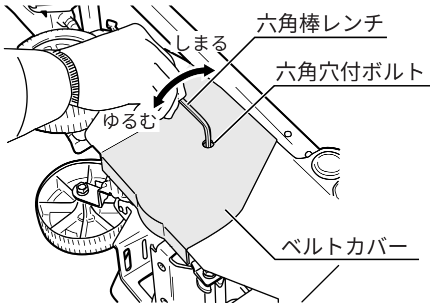
●刃物の交換

<table><tr><th>⚠ 警 告</th></tr><tr><td>・刃物交換のときは必ずスイッチを切り、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
・刃物交換の際は、必ず手袋などで手を保護し、刃先に十分注意してください。けがの原因になります。</td></tr></table>

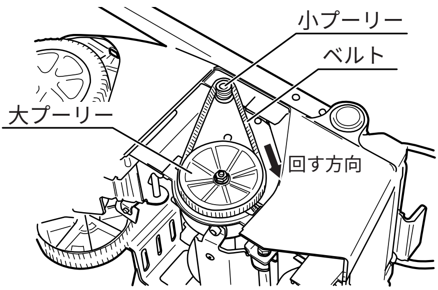
・刃物の交換は、総作業時間約50時間を目安に行なってください。

●リール刃（回転刃）の交換

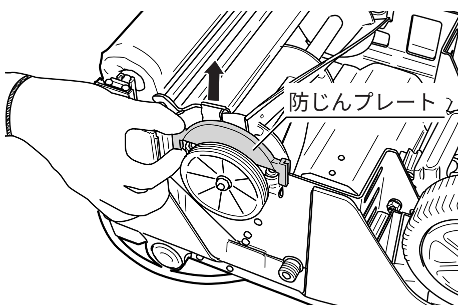
1. ハンドルに収納している六角棒レンチを取出します。
2. 六角棒レンチで六角穴付ボルトをゆるめてベルトカバーを取外します。



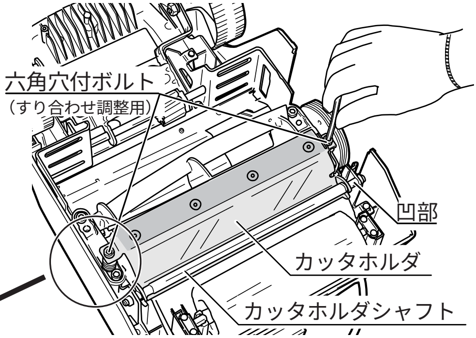
3. ベルトを取外します。
   ベルトを矢印の方向に回して大プーリー側のベルトの山を外します。
   ベルトを回しながら付属品の六角棒レンチをベルトと大プーリーの間にはさみ、少しこじてやると簡単に外せます。

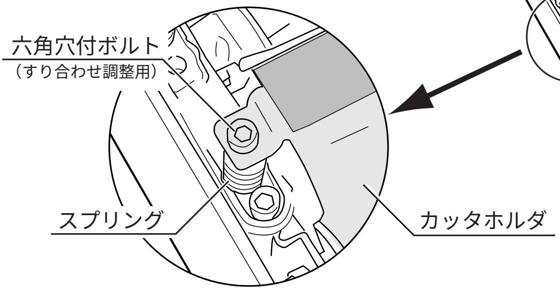


4. 防じんプレートを取外します。
   防じんプレートの向きを確認しておいてください。



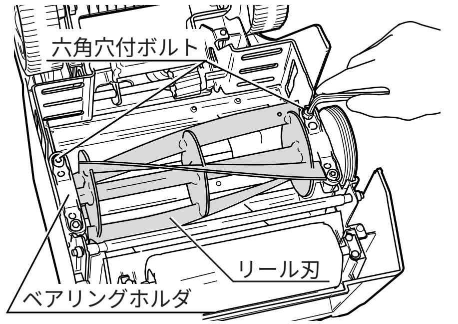
5. 六角穴付ボルト（すり合わせ調整用）2本を六角棒レンチでゆるめ、六角穴付ボルト、カッタホルダ（固定刃付）、スプリングを取外します。
※カッタホルダは右にずらして、カッタホルダシャフトの凹部から取外します。

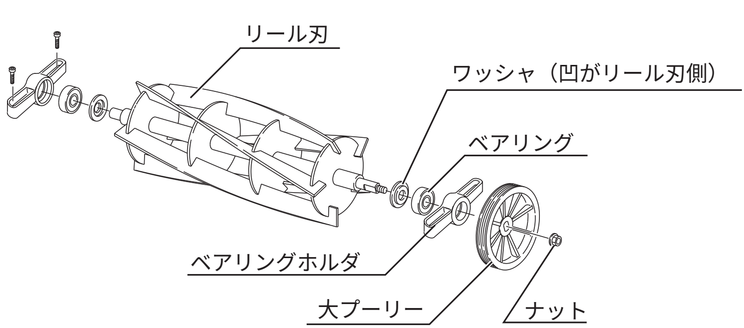




6. 六角穴付ボルト（4本）を六角棒レンチでゆるめてリール刃を取外します。
（注）リール刃、ベアリングホルダ、大プーリーが一緒に外れます。

7. お手持ちのスパナ（10mm）でナットをゆるめて大プーリーを取外してリール刃を交換します。
（注）交換の際は、ベアリングホルダ、ワッシャの向きに注意して、下図の順に組付けてください。





保守と点検

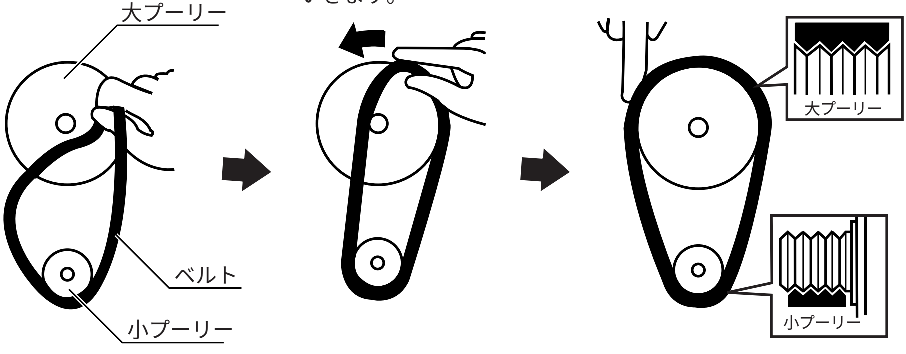
8. 取付けは取外しの逆の要領で行なってください。

（ベルトを取付ける場合）

①小プーリーの溝にベルトを確実に引っ掛けます。

②ベルトを大プーリーの溝に引っ掛けながら回し、確実に溝に入れていきます。

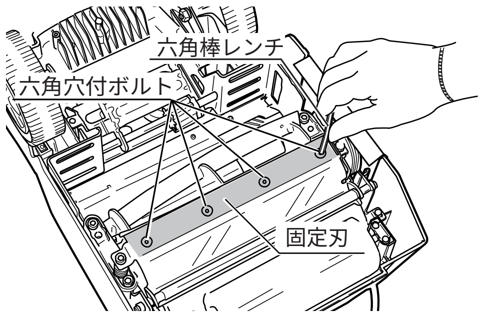
③大、小プーリーの溝に正しく入っているか、確認してください。



9. 刃物のすり合わせ調整をしてください。（P10～11参照）

●固定刃の交換

・お手持ちの六角棒レンチ（3mm）で六角穴付ボルト（4本）をゆるめ、固定刃を取外して交換します。



●各部取付けネジの点検

・ネジなどのゆるみがないか、確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

（注）リール刃、固定刃の交換後は、ボルトにゆるみがないか再度確認してください。

●使用後の手入れ

・油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。

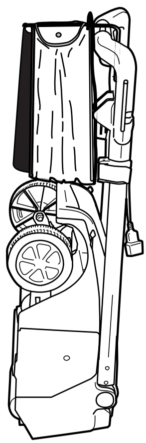
・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

（注）リール刃、固定刃は、必ず汚れをふき取ってください。サビの発生の原因になります。

●作業後の保管

・高温にならない乾燥した場所に保管してください。子供の手の届く範囲や落下の恐れのあるところは避けてください。

・ハンドルを折りたたみ、本体を立てた状態で、コンパクトに収納できます。



本体を立てた状態

●修理について

・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストに添って点検を行なってください。

症　状	原　因	処　置
スイッチを入れてもリール刃が回らない。	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。	電源コンセントにさし込んでください。
	コードが途中で切れたり、断線していませんか。	延長コードを取替えてみるか、他の電気用品でお確かめください。
	刃物に異物がはさまったり、詰まったりしていませんか。	必ず電源プラグを抜いてから、異物を取除いてください。
	過負荷保護装置（ブレーカ）が作動していませんか。	必ず電源プラグを抜いてから、原因を取除いた後、約30秒待って、ブレーカボタンを押してください。
使用中に急に音が変わった。	刃物に異物がからまっていませんか。	必ず電源プラグを抜いてから、異物を取除いてください。
	リール刃が欠けたり、曲がったりしていませんか。	新しいリール刃と交換してください。
刈った芝がグラスキャッチャに入らない。	伸びすぎた芝を刈っていませんか。	刈込高さを25mmにして作業してください。（芝が伸びすぎる前に刈るようにしてください。）
	排出口に芝が詰まっていませんか。	必ず電源プラグを抜き、リール刃に手が触れないように、棒などで詰まった芝を取除いてください。
	ぬれた芝を刈っていませんか。	乾いた芝を刈るようにしてください。
芝が刈れない。	刃物が欠けたり、摩耗したりしていませんか。	新しい刃物と交換してください。
	刃物のすり合わせ調整は正しくされていますか。	P10～11を参照に正しく調整してください。
	刃物の切れ味が悪くなっていませんか。	P19～20を参照にラッピング研磨を行なってください。
	ラッピングスイッチが「研ぐ」になっていませんか。	ラッピングスイッチを「刈る」にしてください。スイッチを切って刃物の回転が停止していることを確認してから切換えてください。

これらのチェックを行なっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

NOTE

RYOBI

持込修理

芝刈機　保証書

リョービ芝刈機をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、
本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。
詳細は下記をご参照ください。

モデル名		製造番号
お客様	お名前	
	ご住所 〒 電話　（　　　）	
お買い上げ日		保証期間（お買い上げ日より）
平成　年　月　日		１年
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号 印	

レシート貼付

リョービ販売株式会社
〒468-8512
愛知県名古屋市天白区久方1-145-1
TEL.(052) 806 - 5111

リョービ株式会社

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
2. ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、リョービ販売営業所にお問い合わせください。
3. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障または損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障または損傷。
   （ハ）業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入または、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   （ヘ）付属品、別販売品や消耗品類の場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   (This warranty is valid only for Japan.)
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

■修理メモ

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元
リョービ販売株式会社

本社　〒468-8512
名古屋市天白区久方1-145-1
TEL.(052)806−5111　FAX.(052)806−5141